事例No.	2774
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	那須まちづくり株式会社

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・福祉・介護 ・関係人口

事例種類	地域の課題解決

事例内容・タイトル

廃校を活用した生涯活躍・安心のまち～少子高齢化社会における新しいコミュニティのカタチ～

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



廃校を活用した生涯活躍･安心のまち～少子高齢化社会における新しいコミュニティのカタチ～

那須（なす）まちづくり株式会社

DATA

事　　例　名：那須まちづくり株式会社
所　　在　地：栃木県那須郡那須町豊原丙1340
連　　絡　先：TEL 0287-74-3434
　　FAX 0287-74-3447
　　E-mail info@nasushiobara.com
ホームページ：https://nasuhiroba.com/

取組の概要

地方都市における少子高齢化の影響は甚大であり、生活インフラの維持も難しい地域が多くなっている。これまで、(一社)コミュニティネットワーク協会の活動を通じて那須町で高齢者住宅を企画し、その住居を核に地域コミュニティの再生に10年以上取り組んできた。当初より「100年コミュニティ構想」として、持続可能な元気の出るまちづくりを目指してきたが、その取り組みをさらに発展させるため、那須町で廃校となった旧朝日小学校を生涯活躍のまち･新しい学びと新しいコミュニティの拠点「那須まちづくり広場」として再生している。

評価された点

- 廃校になった小学校を活用し、新しいコミュニティの構築に取り組み、住まい、仕事、暮らしのための社会経済循環の構築を図っている点を評価。
- 全国の多くの廃校活用の中で、今後さらに進んでいく少子高齢社会を視野に入れ、看取りまでの介護、地域農産物の販売、多世代交流、就労支援と多機能型のコミュニティが定住促進にもつながる取り組み事例である。
- 少子高齢化に伴う課題を持続可能な取り組みにより、ポジティブな方向に転換している。日常生活の基本的なことから、生活をより豊にする学び、アート、交流まであり、普段マイナスである廃校をプラスに逆転している点を評価。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因･背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因･背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ 2016年
元々、継続可能な元気の出るまちづくりを目指した取り組みをしていたところ、廃校となった小学校の利用募集があった。

- ･高齢者向け住宅ゆいま～る那須の開設･運営。
- ･共同事業者、地元農家･商店との連携。

2018年
- ･若い世代と共に小さな資源を大事に穏やかな日々を過ごす「100年コミュニティ」拡充。

那須まちづくり株式会社設立
- ･事業準備。
- ･校舎の小規模改修。



2018年～
- ･地域再生大賞関東ブロック賞受賞。
- ･コミュニティの拠点作り。

那須まちづくり広場開設
- ･カフェやマルシェ。
- ･セミナーの開催。



- ･国交省事業申請。
- ･地域づくり表彰　国土交通大臣賞受賞。

2021年～

国土交通省の補助金決定･工事着手
- ･カフェやマルシェ等のリニューアル。
- ･簡易宿泊所開設。



2022年～

国土交通省の補助事業完成
- ･介護の方向け住宅など住宅開設。
- ･デイサービス、福祉施設など開設。

2023年～（予定）

那須まちづくり広場の完成
- ･自立の高齢者向け住宅等の開設。

今後の展望
- ･ケアの仕組みなど那須まちづくり広場の機能を近隣地域に展開。

受賞者のコメント

伝統あるふるさとづくり大賞の受賞、大変嬉しく、また身の引き締まる思いです。長年、全国各地で住まいを核とした地域コミュニティづくりを進めてきました。那須まちづくり広場は３種類の住まいのほか、交流ホール、アートギャラリー、カフェ、マルシェ、デイサービス、障害を持つ方の就労支援、若い方々のお店、事務所などコミュニティとケアの機能がつまった小さな「まち」です。目指しているものは「誰もが、最期まで、その人らしく暮らせるまちづくり」です。この受賞をきっかけにこのようなまちづくりが全国に広がることを目指してまいります。